

長久手市地域協働計画策定ワークショップ

第1回～第4回までのレポート

長久手市暮らし文化部たつせがある課

令和3年10月発行

計画の概要

平成31年に市民の皆様と協働して、
第6次総合計画(ながくて未来図 2019～2028)を策定しました。
その中で、基本目標の一つに『やってみよう』でつながるまち、
地域共生を支える人づくりの施策として

- “①地域の担い手づくりの推進
②地域における活動の場の整備と活用
③市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくり”があります。

今回の長久手市協働計画は、この3つの施策に沿った計画を※「市民主体の計画づくり」にて策定します。

※みなさんの生活に関係する、各種計画の策定過程を知ってもらい、ご意見を出し合ってもらうことにより、より多くの人が
納得できる計画を市民のみなさまと一緒に作ることです。



具体的な取り組み<スタッフの想い>

- ・多様な人に参加してもらおう(産学官)
- ・コロナ禍であり、オンラインワークショップで開催する(長久手初)
- ・継続する楽しさを演出する(プログラムに工夫)
- ・計画策定を協働の実践の場としよう(大学生がブレイクアウトルームファシリテーターを担う)

スケジュール

第一回	第二回	第三回	第四回	第五回
日時: 7月31日(土) 13:00~16:00	日時: 8月28日(土) 13:00~16:00	日時: 9月11日(土) 13:00~16:00	日時: 9月25日(土) 13:00~16:00	日時: 10月23日(土) 13:00~16:00
テーマ: 夢を語ろう! あなたのやりたいこと でできること	テーマ: 長久手らしさ とは?	テーマ: 協働のカタチ	テーマ: 解決策を生み 出す	テーマ: 提案作成
目標: お互いに知り 合う	目標: 発想の転換を 図り、長久手 ユニークを創 る	目標: 協働のアイデ アを爆発させ る	目標: 実現性を検討 し、提案を策 定する	目標: 実行プラン作 成し、提案書 にまとめる

第1～4回のオンラインワークショップを実施しました

- ・多様な人に参加いただきました
34名(男女各17名)延べ84名
- ・市民 6名、・市民団体 6名、・学生 7名、・大学 4名、・市関連 2名、職員 6名、・スタッフ 3名
*企業2社には、毎回話し合ったことを報告しました

◆スタッフの感想

- ・最初は通信環境不調で画面から消える人が発生したが、Zoomの操作スキルも上がりました。
- ・日頃交流の少ない多世代他分野の人との対話の場をデザインしたことで楽しく進行してきた。
- ・大学生がワークショップを担当したことで、参加者の笑顔での話し合いができました。
- ・オンラインワークショップでは必要な時間設定で実施したことで、満足度の高い評価を得ている。
- ・社会状況によりますが、5回目終了後にリアル懇親会の要望をいただいています。

◆ブレイクアウトルームファシリテーターの感想より

- ・色々な属性のコーディネーターを用意してまずはまちセンに行きたくなるようにする、
という意見には皆さん納得して賛成している様子でした。
- ・「できるか分からないけど、やってみたら面白そう」という発想をグループで大切にできたのは
良かったなと感じました。また、お互いの意見を尊重し合うことができました。
- ・「それをするにはどうしたらいいか。」「具体的にはどんなもの?」などのように、次回はもう
少し話を掘り下げて、もっと面白い話し合いになるようにしたい。

第1～4回の主なプログラム<何を対話してきたのか>

*は今日の目標、①②③は各ワークショップのテーマ、コメントはアンケートより抜粋



1回目 夢を語る…あなたのやりたいこと、できること 協働の第一歩を踏み出す

*参加者がお互いを理解し、対話ができるチームを創る

- ①自分の夢を語る
- ②旅に出て、自分に加えて協働の夢を語る

- ・他己紹介で、色々な経験や良さを知ることができた
- ・多世代他分野の話しが聞けた
- ・様々な立場から長久手を絡めた夢が共有でき楽しかった

2回目 長久手らしさを探求する

*参加者が対話して、長久手らしさを探求する

- ①長久手のイマイチは？
- ②イマイチを特徴にする視点は？
- ③特徴から生まれる価値は？

- ・絵しりとりで、親近感がわき距離が縮まった
- ・長久手らしいところがでた
- ・「つながり」の必要な理由や、「つながり」に対する価値観の違いがあることを共有した

3回目 長久手らしいつながりを探求する

*参加者が対話して、長久手らしいつながりを探求する

- ①ハラハラするがワクワクできるつながりとは？
- ②あなたは何をしていますか？つながりが実現した10年後
- ③新しいつながりを発明するための3つの要素は？

- ・在住新、在学、在職・在勤、在住旧の立場で意見がでた
- ・10年先を自分事で考えた
- ・新しいつながり「場」であることを共有した

4回目 解決策を生み出す 長久手らしい協働を探求する

*参加者が対話して、協働を醸成する場(BA)をデザインする 浅いが快適なつながりで協働するアイデアを爆発させる

- ① ②危険だが居心地の良い場(BA)とは？
- ③ワクワクして一歩踏み出す始めの一歩とは？

- ・場(BA)まちづくりセンターを物・情報・人の視点で考えた
- ・多種多様なアイデアが沢山でた
- ・アルパカを飼う話もあり、次回もワクワクできそう

オンライン対話会の ZOOM 画像より抜粋

- ・回線不調で画面から消える人発生
- ・アイスブレイクで場を温めた



- ・学生が頑張ってくれました



ワークショップで話し合ったこと

第1回 コロナ禍にも負けないあなたの夢は？

ブレイクアウトセッション(大学生)が入力した

AI テキストマイニングしました

多くの意見がでました

つながり、市民活動、防災、フラット、若返る、長久手、センター、zoom、起業、コロナ、自治会、福祉、商店、隠病、芸大、ういっい、学ぶ、防炎、フラット、会う、できる、生きる、新しい、少ない、災害時、出会う、残す、見つける、おく、新しい、少ない、災害時、出会う、残す、見つける、おく、新しい、少ない、災害時、出会う、残す、見つける、おく

AI テキストマイニングしました

多くの意見がでました

つながり、市民活動、防災、フラット、若返る、長久手、センター、zoom、起業、コロナ、自治会、福祉、商店、隠病、芸大、ういっい、学ぶ、防炎、フラット、会う、できる、生きる、新しい、少ない、災害時、出会う、残す、見つける、おく、新しい、少ない、災害時、出会う、残す、見つける、おく

